

被災者のマナー 被災後の生活と治安

東北大学防災科学研究拠点
(文学研究科心理学講座)
阿部恒之



開店前のスーパーの行列
品薄であるにもかかわらず，混乱せずに整列

2011-3-25

シャンプー100円

「水しか使えず申し訳ありませんでしたので・・・」



2011-3-25



震災当日，被災者自らが手伝って迅速な支援行動

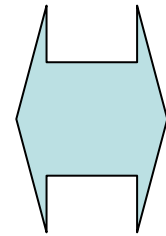
2011-3-11

被災者の秩序ある行動，助け合う姿は海外から賞賛された。

今回のみならず，阪神・淡路大震災，中越大震災のときも同様。

きちんと並ぶ節度

自発的な助け合い



パニックが発生しない

穏やかな避難生活
二次被害の最小化

しかし……

・過去

関東大震災のとき，デマによる集団暴行

・今回

悪徳商法，読売新聞埼玉版3/19

買占め（広島でカップ麺品薄），読売新聞広島版3/30

外国人による略奪のデマ（三条中避難所），河北新報3/22

新聞紙で品物を見えないように
……仙台中心部における略奪懸念の広がり



今後も日本における災害では略奪・パニック・デマによる被害は無縁とはいえない状況にある。

災害後の暮らしの安全を守るためには、混乱行動を生じる条件・生じない条件を明らかにし、その「分水嶺」を見極める必要がある。

まずはきちんとした記録を残すことから開始